

令和5年度 小学部 3年（訪問教育I課程） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時間	教科書／副教材等		担当者名		
年間総時数 45.5時間/ 週1.3時間	国語1年下、2年上下、3年上下（光村図書）				
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 （知及技）日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさを気づくとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	（知・技、書） ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ）	（知・技） ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（(1)オ） （思・判・表） ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） （主学） 積極的に日付や曜日を表す言葉に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱歌を作ろうとしている。	振り返ろう（実態把握） ・ひらがなやカタカナの読み書きができる。 日づけと よう日	1 ひらがなを読んだり、書いたりする。 2 カタカナを読んだり、書いたりする 1 日付 ・日付の漢字の読み方を学ぶ 2 曜日 ・曜日の漢字の読み方を学ぶ
	2.6	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)イ） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技）	【知・技】 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)イ） 【態】これまでの学習をいかし、場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとしている。	たぬきの糸車	1 学習の見直しをもつを引く。 ・挿絵を手がかりに、文章の大体を捉える。 ・「すきなところを見つけてみんなに知らせよう」という学習課題を確認する。 2 みんなの「すきなところ」のおもしろさを伝え合う。 ・場面の様子から、なぜ登場人物がそのような行動をとったか、想像したことを伝え合う。 3 学習を振り返る。 ・「たいせつ」で、お話にはまとまりがあることを確認する。
	3.1	（読） ◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ）	【知・技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(1)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ） 【態】学習の見直しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。	どうぶつの 赤ちゃん	1 学習の見直しをもつ。 ・いろいろな動物の赤ちゃんの写真を見て、動物の赤ちゃんへの興味・関心をもつ。 ・「どうぶつの赤ちゃんについて、かかっていることをくらべながらようよう」という学習課題を確認する。 2 教師の範読を聞く。 ・初めて知ったことや不思議に思ったことを話し合う。 3 ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子や成長を比べながら読み取る。 ・「生まれたばかりのようす」「大きくなっていくようす」を観点ごとにまとめる。 ・お母さんとの違いや、成長過程での親子のつながりについて確認する。
	3.1	（知・技①、読⑨） ◎順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ）	知・技】順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） 【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） 【態】粘り強く時間的な順序などを考えて内容を捉え、学習の見直しをもって、文章を読んで思ったことを書こうとしている。	たんぼぼの ちえ	1 教材文を読み、初発の感想を交流する。 ・おもしろいと感じたこと、不思議だと思ったこと、初めて知ったことなどを中心に発表し合う。 2 たんぼぼが、いつ、どんな知恵を働かせているのかを捉える。 ・いくつの知恵が書かれているのかを確かめながら音読する。 ・挿絵と時を表す言葉を結び付けながら、たんぼぼが書かれていく順序に気をつけて読む。 ・たんぼぼの知恵とそのわけを、文末表現の違いに注意しながら整理し、ノートにまとめる。

	3.1	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)工) ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)工) 【態】 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って物語の紹介文を書こうとしている。	スイミー	1初発の感想を書き、交流する。 2教材文を読み、あらすじを書く。 ・「初め」「中」「終わり」という作品構成を理解し、作品の流れを確かめる。 ・スイミーの行動や会話に着目し、スイミーの人物像をまとめる。 3場面の様子が分かる言葉を見つけ、想像したことを話し合う。
2 学期	1.3	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知・技(1)キ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表A(1)工) ○伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア)	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。(1)キ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。(A(1)工) 【態】粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。	あつたらいいな、こんなもの	1 学習の見通しをもつ。 ・「しつもんをしあつて、くわしく考える」という学習課題を設定し、学習の進め方を確認する。 2「あつたらいいな」と思うものを考えて、絵に描く。 ・道具の効果について、短い言葉で書いておく。発表する。
	3.1	◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)工) ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ)	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。(1)ク) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)工) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って音読劇に取り組もうとしている。	お手紙	1教材文を読み、大まかな内容をつかむ。 ・各場面の二人の様子や行動を、言葉や挿絵を手がかりにして捉える。 2物語の世界を想像し、音読したいところを探しながら読む。 ・人物の様子や気持ちの変化を捉える。
	3.1	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表C(1)カ) ○身近なことを表す語句の量を増すことができる。(知・技(1)オ) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)工)	【知・技】身近なことを表す語句の量を増している。(1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)工) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C(1)カ) 【態】文章を読んで感じたことを積極的に共有し、学習の見通しをもって物語の感想を交流しようとしている。	スーホの白い馬	1 登場人物と出来事確かめ、大体的内容を捉える。 ・読んで強く心に残ったことを出し合い、ノートに書いたり発表し合ったりする。 2 お話の世界について想像を広げる。 ・登場人物の行動や会話を確かめながら、登場人物や場面の様子について想像したことを出し合う。 ・「スーホ」や「白馬」の行動や会話で、強く心を動かされたところを探し、その理由を考える。 3 強く心を動かされたところをノートに書き抜き、その理由を書く。
	3.1	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク)	知・技] 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク) 【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) 【態】進んで登場人物の行動や気持ちを捉え、学習課題に沿って、読んで想像したことを伝え合おうとしている。	きつつきの商売	1「1」と「2」の場面の登場人物や書かれている様子を整理し、書かれている様子を思い浮かべながら音読する。 2「きつつき」が聞かせた音について、叙述を基に具体的に想像する。 3音を聞いた登場人物の気持ちを、行動や会話、様子から想像して考えて、伝え合う。 4「3」の場面を作る。 ・登場人物や書かれている様子を設定し、ノートに整理する。
	2.6	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)	知・技] ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・辞書の使い方を理解使っている。(2)イ) 【態】学習課題に沿って、進んで辞書の使い方を理解使おうとしている。	国語辞典を使おう	1 国語辞典の見方を理解する。 ・国語辞典を開き、P32「国語辞典のれい」の内容を確かめる。 2 見出し語の見つけ方を理解する。 ・国語辞典ではどのような決まりで言葉が示されているかを知る。 ・P140「ひらがなとかたかな」を参考に、五十音の並びを確かめながら言葉を調べる。 3 言葉の意味を調べる。 ・P34の設問に取り組み、示されているいろいろな語を辞書で引く。 ・調べて分かった意味をノートにまとめる。

	3.1	◎段落の役割について理解することができる。(知・技(1)力) ◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)	【知・技】 ・段落の役割について理解している。(1)力) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) 【態】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って、読んで考えたことを伝え合おうとしている。	こまを楽しむ	1 本文を読む 2 「こまを楽しむ」の構成を捉える。 ・「問い」を二つに分けてノートに書く。 ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを捉える。 段落に番号をつけて考える。 ・「中」では、どのような「問い」に対する「答え」が書かれているか、音読しながら、中心となる言葉や文を確かめ、ノートに整理する。
	1.3	◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア)	【知・技】易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【態】学習課題に沿って、易しい文語調の俳句を進んで音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。	俳句を楽しもう	1 俳句のきまりを知る。 ・「五・七・五」の十七音で作られていることや季語があることなどを確認する。 2 俳句を声に出して読む。 ・どこで区切るかを考えたり、音のリズムを確かめたりなどして、言葉の調子や響きを楽しむ。気に入った俳句や「いろは歌」を、音読したり暗唱したりする。
3 学期	1.8	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)力) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) 【態】友達との感じ方の違いに積極的に気づこうとし、学習課題に沿って、詩を読んで思ったことや感じたことを深めようとしている。	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおして くる	1 「わたしと小鳥とすずと」と「夕日がせなかをおしてくる」を音読する。 ・それぞれの詩について、一連目と二連目を比べながら読む。 →P159「学習に用いる言葉」 ・連と連の関係に着目し、二つの詩の似ているところやちがうところについて話し合う。 2 二つの詩から、心に残った言葉や表現を見つける。 ・声に出して読んだり、ノートに視写したりしながら、自分の好きな言葉や表現を選ぶ。
	1.3	◎長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ・目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)	【知・技】長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使っている。(3)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】積極的にことわざや故事成語の意味を知ろうとし、学習課題に沿って、調べたことをまとめて書こうとしている。	ことわざ・故事成語	1 ことわざや故事成語について知る。 ・P57を読み、ことわざについて知り、提示されていることわざの意味を調べ、記録する。 ・P58を読み、故事成語について知り、提示されている故事成語の意味や由来を調べ、記録する。
	1.3	◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う教材(道徳)	【知・技】易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 【態】学習課題に沿って、易しい文語調の短歌を進んで音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。	短歌を楽しもう	1 短歌について知る。 ・「五・七・五・七・七」の三十一音で作られていることや、情景や心情を込めていることなどを確認する。 2 言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して繰り返し読む。

	3.1	<p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>○指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)力)</p> <p>○段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p>	<p>【知・技】指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)力)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) <p>【態】進んで一人一人の感じ方の違いに着目し、学習課題に沿って、文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。</p>	ありの行列	<p>1 論理の展開に着目して、教材文を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を「初め」「中」「終わり」に分け、「問い」「答え」がどの段落にどのように書かれているかを探す。 ・P102下段「つながりを考えるとき」を参考に、接続語や指示語を手がかりとして、「問い」から「答え」までの論の進め方を確かめる。 ・ウイルソンの研究の進め方、ありが行列を作る仕組みについて、書かれていることを要約する。 ・文末などに着目して、「調べたこと」と「考えたこと」を読み分ける。 <p>2 文章を読んで思ったこと、考えたことを文章に書く。</p>
	1.8	<p>◎日常で使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ)</p>	<p>【知・技】日常で使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ)</p> <p>【態】今までの学習をいかして、粘り強くコンピュータを使ったローマ字入力に取り組み、簡単な単語を入力したり変換したりしようとしている。</p>	コンピュータのローマ字入力	<p>1 ローマ字の表記のしかたを知る。</p> <p>2 コンピュータのローマ字入力の方法や変換のしかたについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に提示された単語をコンピュータに入力し、実際の方法を確かめる。
	3.7	<p>◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ)</p> <p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ)</p>	<p>【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ) <p>【態】登場人物の性格について場面の移り変わりと結び付けて粘り強く想像し、学習の見通しをもって、感じたことや考えたことをまとめて友達と伝え合おうとしている。</p>	モチモチの木	<p>1 物語を音読する。</p> <p>2 登場人物の性格や気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「豆太」と「じさま」の人物像について、語り手や他の登場人物の視点で書かれているところに着目して読む。 ・各場面での「豆太」と「じさま」の行動や会話、様子をノートに整理する。 ・「霜月二十日のぼん」の場面と「豆太は見た」の場面とで、「豆太」の人物像を比べ、違いを話し合う。 ・「豆太」はどうしてモチモチの木を見ることができたのかについて、「医者様」と「じさま」の発言を比べ、自分の考えとその理由をノートに書く。 <p>3 「豆太」の気持ちの変化や性格について、感じたことや考えたことを、友達と話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P134-135「話し合いのれい」を見て、話し合い方を確認する。 ・どの叙述からそう思ったのかを明らかにする。 ・自分の経験と比べて考えをまとめる。 ・友達と自分の考えを比べながら話し合う。 <p>4 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえろう」を基に、友達と話し合うことで登場人物への見方が深まったことなどを振り返る。 ・「たいせつ」「いかそう」で、登場人物の性格の捉え方などを押さえる。 ・「この本、読もう」で他の本への読み広げに意欲をもつ。
	1	<p>書写</p> <p>【知・技】筆で書き初めをすることができる。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】今までに学習した知識・技能の生かし方を考えたりしている。</p> <p>【態】今までの学習を生かしながら筆で書こうとしている。</p>	書き初め	<p>1 筆で文字を書く。</p>
留意点 引き継ぎ等					

令和5年度 小学部 3年（訪問教育 I 課程） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時間		教科書／副教材等			担当者名
年間時数14時間/ 週0.4時間		教科書：小学社会3（教育出版）/副読本：私たちの沖縄市			
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追及・解決刷る活動を通して、次の通り資質・能力を育成することを目指す。 （知及技）身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。 （思判表力）社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを選択・判断したことを表現する力を養う。 （学・人）社会事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	2	（知及技）身近な地域の様子をおおまかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。 （思判表力）身近な地域の場所による違い、人々の生活の関連などを考え、考えたことを表現する力を養う。 学習問題を追究・解決するために、身近な地域について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことを表現しようとする主体的な学習態度を養う。 （学・人）学習問題を追究・解決するために、身近な地域について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことを表現しようとする主体的な学習態度を養う。	（知・技） ・学校の周りや、駅のまわり、土地の高い所と低い所について、学校の屋上から観察したり、まち探検をしたりして調べ、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や絵地図にまとめ、身近な地域の様子を理解している。 （思・判・表） ・学校の周りや、駅のまわり、土地の高い所と低い所に着目して、問いを見だし、身近な地域の様子について考え表現している。 ・学校の周りや、駅のまわり、土地の高い所と低い所を比較したり、わかったことを総合したりするなどして場所の違いを考え表現している。 （主学） ・身近な地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	「まちの様子」	①自分の家やよく行く場所を紹介し合う。 ②東西南北の方位ごとに、まちの様子を観察する。 ③絵地図にまとめる。 ④絵地図と、まちの空中写真を比べて、どこに何があるのかをたしかめる。
1 学期	2.8	（知及技）身近な市の様子をおおまかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。 （思判表力）身近な市の場所による違い、人々の生活の関連などを考え、考えたことを表現する力を養う。 （学・人）身近な市について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情を養う。	（知・技） 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ・調べたことを白地図やポスター、文などにまとめ、自分たちの市の様子を理解している。 （思・判・表） ・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見だし、市の様子について考え表現している。 ・市内の特色あるいくつかの場所の様子を調べ、比較したり、わかったことを総合したりするなどして場所の違いを考え表現している。 （主学） ・自分たちの市について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。	「市の様子」	①市の空中写真を観察して、気づいたことを話し合う。 ②市内で行ったことのある場所や知っている建物などを出し合う。 ③県の地図を見て、自分たちの市の位置について、八方位を使って表す。 ④市の輪郭を描き写したりして、市の広さやおおまかな形状を確かめる。 ⑤市役所の周り、海に面した所、市内の緑地等の空中写真を見て、気づいたことを話し合う。 ⑥公共施設の分布を捉える。 ⑦これまで調べてきた場所について、白地図にまとめる。 ⑧副読本をみながら市内の様子は場所によって違いがあることを確かめる。

1 学期	<p>(知及技) 地域に見られる販売の仕事の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 販売に見られる仕事の工夫や特色、意味を考える力や、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 学習問題を追究・解決するために、地域に見られる販売の仕事の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図帳などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や関係図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。 (思・判・表) ・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・消費者の願いと販売の仕方を比較・関連付けたり、わかったことを総合するなどして販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。 (主学) ・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	「店ではたらく人と仕事」	<p>①家の人がよく行く店、よく買う品物を発表する。 ②レシートを調べて、気づいたことを発表する。 ③スーパーマーケットを見学し、売り場の様子や工夫について調べ、わかったことをカードに書く。障害者用のトイレやボタン等を確認する。 ④商品の値札やパッケージ、広告のちらしから、それらの産地を調べる。 ⑤家の人に、買い物で気をつけていることをインタビューする。 ⑥これまで学習したことを振り返る。</p>
2 学期	<p>(知及技) 地域の産業の様子を、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 地域の産業の特色や意味、人々の生活との関連を考える力や、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 学習問題を追究・解決するために、地域の産業の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。</p>	<p>(知・技) 生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図帳などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 調べたことをノートにまとめ、生産の仕事は、地域の人の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表) 生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見いだし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程など地いきのくらしを比較・関連付けたり、わかったことを総合するなどして地域の人の生活との関連を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。 (主学) 地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	「工場ではたらく人と仕事」	<p>(ビデオ等視聴覚教材を見る) ①市内の主な工場の分布について調べる。 ②工場の施設や働く人の服装について、気づいたことを発表し合う。 ③工場で働く人が気をつけていることを調べる。 ④調べてわかったことや、考えたことをまとめる。 ⑤工場には、製造の他にどのような仕事があるのか調べる。 ⑥工場でつくられた製品は、どこへ運ばれるのか調べ、発表する。 ⑦これまでの学習を振り返る。</p>
2 学期	<p>(知及技) 消防署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 消防署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 消防署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) 消防署の分布や、消火栓や火災報知器、消防水利、消防団倉庫などの配置、働いている人の勤務体制や待機の仕方、訓練、施設・設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどについて見学・調査したり地図帳などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、消防署や地域の人の諸活動を理解している。 ・消防署を中心に警察署など関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人の協力を火事などの防止に努めていることを理解している。 (思・判・表) 消防署の分布や、消火栓や火災報知器、消防水利、消防団倉庫などの配置、働いている人の勤務体制や待機の仕方、訓練、施設・設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどに着目して、問いを見いだし、関係機関や地域の人の諸活動について考え表現している。 (主学) 地域の人の生命や財産を脅かす火災から、安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	「火事からまちを守る」	<p>①市内の消防署や出張所などの分布図を見て、それらの場所を確かめる。 ②消防署や出張所が、市内に多数ある理由を考える。 ③消防署見学したことを思い出す ④119番の電話による通報は、どこにつながるのか調べる。 ⑤消防署の時間別の仕事や、職員の勤務体制について調べる。 ⑥学校や地域の消防設備について知る。 ⑦これまでの学習を振り返る。</p>

2 学 期	1.6 <p>(知及技) 警察署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 警察署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 警察署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>(知・技) 働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「こども110番の家」などの位置や分布について見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察署や地域の人々の諸活動を理解している。 ・調べたことを関係図や安全マップなどにまとめ、警察署を中心に消防署など関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。 (思・判・表) 働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「こども110番の家」などの位置や分布に着目して、問いを見いだし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 警察署を中心とするさまざまな関連機関の連携や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。 (主学) 学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。</p>	「事故や事件から町を守る」	①交通事故が発生した時の警察署の仕事を調べる。 ②交番の警察官の仕事の調べる。 ③警察署の仕事は、地域とどのように関わっているのか考える。 ④地域の安全を守るためにどのような人々が協力し合っているか調べる。 ⑤これまでの学習を振り返る。
3 学 期	1.2 <p>(知及技) 生活の中で使われる道具の変化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 学習問題を追究・解決するために、使われる道具の変化について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。</p>	<p>(知・技) 炊事や洗濯など家事に使用する道具や明かりや暖をとる道具など生活の中で使われた道具について、見学や聞き取り調査をして調べ、必要な情報を集め、人々の生活の様子を理解している。 ・調べたことを道具調べカードや年表にまとめ、人々の生活の移り変わりについて理解している。 (思・判・表) ・炊事や洗濯など家事に使用する道具や明かりや暖をとる道具など生活の中で使われた道具などに着目して、問いを見いだし、人々の生活の様子について考え表現している。 ・昔の道具と今の道具を比較したり、わかったことを総合したりするなどして人々の生活の様子の変化について考え表現している。 (主学) 人々の生活の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	「かわる道具とくらし」	①昔と今の、洗濯などの家事で使われる道具について調べて、その違いについて話し合う。 ②道具調べカードなどを使って、年表にまとめる。 ③これまでの学習を振り返る。
0.8	<p>(知及技) 市の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 市や人々の生活の様子の変化などを考える力、地域の課題やこれからの市の発展について考えたりする力、考えたことを表現する力を養う。 (学・人) 市の様子の移り変わりについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、これまでの学習を振り返り、学習したことを確認するとともに、学習成果をもとに、生活の在り方やこれからの地域社会の発展について考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 交通や公共施設、土地利用や人口などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり地図やグラフなどの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の生活を理解している。 調べたことを絵カードや年表にまとめ、市の様子の移り変わりについて理解している。 (思・判・表) 交通や公共施設、土地利用や人口などの時期による違いなどに着目して、問いを見いだし、市の様子について考え理解している。 ・交通や公共施設、土地利用や人口などの今と昔を比較・関連付けたり、わかったことを総合したりして市の様子の変化について表現している。 (主学) 市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>	「市のうつりかわり」	①昔と今の写真を比べて、様子の違いについて話し合う。 ②市内の新旧の主な公共施設の分布図を比べて、その移り変わりについて話し合う。 ③これまでの学習について振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 3年（訪問教育 I 課程） 算数科 年間指導計画

単位数 ／配当時間		教科書／副教材等			担当者名
年間総時数 38.5時間/ 週1.1時間		教科書：小学校さんすう1年上下、2年上（学校図書）			
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 （知及技） 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにおける量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身につけるようにする。 （思判表力） ものの数に着目し、具体的や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにおけるものの特徴を量に着目して捉え、量の大ききの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。 （学・人） 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4.4	（知及技） 10までの数の合成・分解ができる。 10までの数の構成を理解することができる。 数を多面的にとらえることができる。 （思判表力） 数の合成・分解を、順序立てて考え、数を多面的にとらえ、表現する力を養う。 （学・人） 数の合成・分解に関心をもち、いくつといくつという見方で数を表そうとする態度を養う。	（知・技） 10までの数を合成・分解することができる。 10までの数の合成・分解のしかたを理解している。 （思・判・表） 数の合成・分解を、順序立てて考えている。 （主学） 数の合成・分解に関心をもち、いくつといくつという見方で数を表そうとしている。	いくつといくつ	①5, 6, 7, 8, 9, 10の数についてタイルを使っていくつといくつにわけられるか学習する。
	2.5	（知及技） 加法が用いられる場面を知り、加法の意味を理解することができる。 加法の記号や等号を知り、それらを用いた式で具体的場面を表したり、読み取ったりできる。 和が10以下の加法の計算ができる。 （思判表力） 文や絵から、加法の場面かどうかを判断したり、加法の式を具体的な場面に結びつけてとらえたりする力を養う。 （学・人） 生活の中から加法の場面を見だし、式に表すよさに気づき、意欲的に問題作りに取り組もうとする態度を養う。	（知・技） 和が10以下の加法の計算ができる。また、加法の場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 加法の適用場面として合併や増加の場面があることを理解し、加法の記号と等号を用いた式の意味を理解している。 （思・判・表） 合併や増加の場面を加法の適用場面として判断している。また、加法の式を具体的な場面に結びつけてとらえている。 （主学） 生活の中から加法の場面を想起して、加法の式で表すことや、加法となる問題作り在意欲的に取り組もうとしている。	あわせていくつ ふえるといくつ	①教科書の挿絵をみながら、加法の意味を知る。 ②「あわせて」や「みんなで」「ふえると」等の加法の言葉の意味を知り、タイルで操作したり、立式したりする。 ③和が10未満の計算問題を解く。 ④0の意味を考え、0の加法について知る。
	2.2	（知及技） 減法が用いられる場面を知り、減法の意味を理解することができる。 減法の記号を知り、それらを用いた式で具体的場面を表したり、読み取ったりできる。 10以下の数についての減法の計算ができる。 （思判表力） 文や絵から、減法の場面かどうかを判断したり、減法の式を具体的な場面に結びつけてとらえたりする力を養う。 （学・人） 生活の中から減法の場面を見だし、式に表すよさに気づき、意欲的に問題作りに取り組もうとする態度を養う。	（知・技） 10以下の数について、減法の計算ができる。また、減法の場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 減法の適用場面として求残や求差の場面があることを理解し、減法の記号と等号を用いた式の意味を理解している。 （思・判・表） 文や絵から、減法の場面かどうかを判断している。また、減法の式を具体的な場面に結びつけてとらえている。 （主学） 生活の中から減法の場面を想起して、減法の式で表すことや、減法となる問題作り在意欲的に取り組もうとしている。	のこりはいくつ ちがいはいくつ	①教科書の挿絵をみながら、減法の意味を知る。 ②「のこり」や「ちがいは」等の減法の言葉の意味を知り、タイルで操作したり、立式したりする。 ③9以下の2数の減法の練習をする。 ④10－(1位数)の減法の計算をする。 ⑤0の入った計算や、答えが0になる計算の練習をする。

2.2	<p>(知及技) 10より大きく20までのものの数を数えたり、数字を用いて表したりすることができる。</p> <p>「一の位」、「十の位」の用語と意味を理解し、2位数の構成を理解することができる。 (思判表力)</p> <p>10のまとまりを作って数えることを通して、十を単位とした数の仕組みとその表現のよさを見いだす力を養う。 (学・人)</p> <p>身の回りで用いられている数を数えたり比べたり、数字を用いて表そうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 10より大きく20までのものの数を数えたり、数字を用いて表したりすることができる。</p> <p>「一の位」、「十の位」の用語と意味を理解し、2位数の構成を理解している。 (思・判・表)</p> <p>10のまとまりを作って数えることを通して、十を単位とした数の仕組みとその表現のよさを見いだしている。 (主学)</p> <p>身近な事象の中に存在する数を見だし、数を数えたり、数字で表したりしようとしている。</p>	<p>10よりおおきいかずをかぞえよう</p>	<p>①タイルを使って、10のまとまりをつくる。(10といくつ) ②20までの数について正しく数える。 ③2とび、5とびでまとめて数える。 ④20までの数の合成・分解について、ブロックを用いて操作し理解する。 ⑤20までの数を順序よく並べる。 ⑥数直線について理解し、位置を数で表す。 ⑦「10といくつ」の数の見方から、1つの数をほかの数の和や差として式に表す。 ⑧「12+3」を考える。 ⑨「15-2」を考える。</p>
-----	---	--	-------------------------	---

2.2	<p>(知及技) 2つの数の加減法をもとに、3口の数の加減計算の場面を立式し、答えを求めることができる。 2つの数の加減法をもとに、3口の数の加減法の計算の意味やその方法を理解することができる。 (思判表力) 具体物や図などを用いて、2つの数の加減法をもとに、3口の数の加減法の計算を考える力を養う。 (学・人) 身の回りで用いられている数を数えたり比べたり、数を用いて表そうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 3口の数の加減計算の場面を、具体物や図などをもとにして、立式して答えを求めることができる。 3口の数の加減計算の場面を、具体物や図などを用いて理解し、計算の意味やそのしかたを理解している。 (思・判・表) 3口の数の加減計算の場面を、図や具体物などを用いたり、2つの数の加減法をもとに考えたりして、演算決定をしている。 (主学) 問題場面を図や具体物などを用いて表すなどして、3口の数の加減計算の場面を、判断しようとしている。</p>	たしたりひいたりしてみよう	<p>①場面を見てどんな式になるかを考えて、立式する。 ②3口の式についてブロック操作を通して場面と式を関連づけて考える。 ③3口の減法のしかたを考え、計算する。 ④3口の数の加減混合の計算のしかたを考え、計算する。</p>
2.2	<p>(知及技) 10のまとまりに着目することで、繰り上がりのある計算の意味やその方法を理解することができる。 繰り上がりのある計算が正しくできる。 (思判表力) 繰り上がりのある加法の計算のしかたを、具体物や言葉、式、図を用いて表現し、考える力を養う。 (学・人) 具体物を使いながら、進んで繰り上がりのある計算のしかたを考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 10のまとまりに着目することで、繰り上がりのある計算のしかたを理解し、正しく計算ができる。 (思・判・表) 繰り上がりのある加法の計算のしかたを、具体物や言葉、式、図を用いて表現し、考えている。 (主学) 1位数と1位数の加法で繰り上がりのある計算に進んで取り組み、その計算のしかたを考えようとしている。</p>	たしざん	<p>①ブロックを使ったり、絵を描いたりして、$9+4$の計算のしかたをいろいろ考える。 ②$8+3$の計算のしかたをブロックを使ったり絵をかいたりして説明する。 ●ブロックを使って確かめる。 ●10のまとまりを作るために、加数を分解すればよいことがわかる。 ●加数分解が使える場合の計算練習をする。 ③$3+9$のような計算のしかたを考える。 ④$8+6$の計算のしかたをいろいろ考える。</p>
2.2	<p>(知及技) 10のまとまりに着目することで、繰り下がりのある減法の計算の意味やその方法を理解することができる。 繰り下がりのある減法の計算が正しくできる。 (思判表力) 繰り下がりのある減法の計算のしかたを、具体物や言葉、式、図を用いて表現して考える力を養う。 (学・人) 具体物を使いながら、進んで繰り下がりのある減法の計算のしかたを考えようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 10のまとまりに着目することで、繰り下がりのある減法の計算のしかたを理解し、正しく計算ができる。 (思・判・表) 繰り下がりのある減法の計算のしかたを、具体物や言葉、式、図を用いて表現し、考えている。 (主学) (十何)-(1位数)の減法で、繰り下がりのある計算に進んで取り組み、その計算のしかたを考えようとしている。</p>	ひきざん	<p>①$\star 12-9$の計算のしかたを10のまとまりに着目して、ブロックを使ったり、絵をかいたりして繰り下がりのある減法の計算のしかたを考える。 ②減加法が使える場合の計算練習をする。 ③減々法が使える場合の計算練習をする。 ④合併場面、求差場面を見て、どんな演算を適用すればよいか判断し、問題を解く。 ⑤増加場面、求差場面を見て、どんな演算を適用すればよいか判断し、問題を解く。</p>
2.2	<p>(知及技) 100までの数の読み方、書き方、数の大小、順序、系列を理解することができる。 数の大きさや構成についての豊かな感覚をもつことができる。 (思判表力) 既習の数の仕組みをもとに、100までの数の読み方や書き方を考えたり、数の仕組みとその表現のよさに気づいたりする力を養う。 (学・人) 数の表し方に関心を持ち、数の数え方や表し方を工夫しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 100までの数の読み方、書き方、数の大小、順序、系列を理解している。 数の大きさや構成についての豊かな感覚をもつことができる。 100までの数を正しく数え、読んだり書いたりすることができる。 (思・判・表) 100までの数表を見て、いろいろな数のきまりを見つけ、数の仕組みとその表現のよさに気づいている。 (主学) 数を数える活動を通して、数の数え方や表し方に関心を持ち、工夫して数えたり、数を表したりしようとしている。</p>	20より大きいかずをかぞえよう	<p>①10のまとまりを作って数える。 ②2位数の書き方を確認する。 ③挿絵を見て、いくつあるかを数える。 ④10が10個で100ということを知る。 ⑤100までの数の表を作り、その規則性を発見する。 ⑥数表を見て、数の大小、順序などを考える。 ⑦数表を見て考えたことを数直線を使って確かめる。 ⑧100より大きい数の読み方、書き方を考える。 ⑨簡単な(何十)+(何十)の計算のしかたを考える。 ⑩簡単な(2位数)+(1位数)の計算のしかたを考える。 ⑪簡単な(何十)-(何十)の計算のしかたを考える。 ⑫簡単な(2位数)-(1位数)の計算のしかたを考える。</p>
1.1	<p>(知及技) 加法、減法の場面をより一層理解し、順序数、集合数に関連した加減法の計算の意味やその方法を理解することができる。 また、どの演算を用いればよいかを判断し、立式して答えを求めることができる。 (思判表力) 加法、減法が用いられる場面を、具体物や図などを用いて考え、演算決定をする力を養う。 (学・人) 図や具体物などを用いて表すなどして、具体的な方法で演算を判断しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 加法、減法の用いられる場面を具体物や図などを用いて理解し、順序数、集合数に関連した加減法の計算の意味やその方法を理解している。 また、具体物や図などをもとにして、立式して答えを求めることができる。 (思・判・表) 加法、減法が用いられる場面を、図や具体物などを用いて考え、演算決定をしている。 (主学) 問題場面を図や具体物などを用いて表すなどして、どの演算を用いればよいかを判断しようとしている。</p>	たすのかな ひくのかな ずにかいてかんがえよう	<p>①絵をヒントにして、順序数を含む問題場面であることを読み取る。 ②具体物や絵や図などをもとにどのような演算を適用すればよいか判断し、問題を解く。</p>

0.5	<p>(知及技) データを分類整理して、表やグラフに表すと、数値や傾向が読み取りやすくなることを理解することができる。 (思判表力) データを分類整理する方法や、簡単な表やグラフにわかりやすくまとめる方法を考え工夫する力を養う。 (学・人) 表やグラフのよさを知り、整理のしかたやまとめ方、表し方を工夫し活用しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) データを分類整理して、表やグラフに表したり読んだりすることができるとともに、その資料が比べやすくなることを理解している。 (思・判・表) データを分類整理する方法や、簡単な表やグラフにわかりやすくまとめる方法を考えられている。 (主学) 身近な事柄を調べ、表やグラフを用いて表すよさに気づき、それらを活用しようとしている。</p>	<p>ひょうとグラフ せいりのしかたやあらわし方を考えよう (2年上)</p>	<p>①育てたい野菜ごとの人数を調べ、同じ野菜の人数を数えて、表に書き表す。 ②育てたい野菜別に作成した表から、簡単なグラフに表す。 ③グラフを読む。</p>
1.1	<p>(知及技) 時刻や時間を、時計や帯時計で求めることができる。また、時間の単位換算ができる。 時刻と時間の違いや、1時間=60分、1日=24時間の関係を理解することができる。 (思判表力) 時計や帯時計の目盛りをもとに、長針や短針の位置関係に着目して時刻や時間を調べる力を養う。 (学・人) 日常生活の場面に応じた時刻や時間を読み、自分の生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 必要な時刻や時間を求めることができる。また、単位換算ができる。 時刻と時間の違いを理解している。また、1時間=60分、1日=24時間の関係を理解している。 (思・判・表) 長針・短針の回り方と目盛りの関係をとらえ、時刻や時間を調べている。 (主学) 時計に関心をもち、日常生活の中でも、時刻と時間を使い分けようとしている。</p>	<p>時こくと時間(1) 時こくや時間を読んで生活にいかそう</p>	<p>①時計の短針と長針を見て、「何時何分」と時刻を読む。 ②時計を見ながら、1分間の長さを体験する。 ③長針が何目盛り進んだのかを読み取り、かかった時間を調べる。 ④時刻と時間の違いを知る。 ⑤長針が1回りするときの短針の動きを調べ、長針の1回りが60分間で1時間であることを具体的な場面で確かめる。 ⑥生活場面の時刻を、午前・午後をつけて読む。</p>
2.2	<p>(知及技) (2位数) + (2位数) や (2位数) - (2位数) の計算のしかたを理解することができる。 (思判表力) 12+23や25-13の答えを求めるために、既習事項をもとに、言葉や図、式などを用いて考える力を養う。 (学・人) (2位数) + (2位数) や (2位数) - (2位数) の問題に、既習事項を使って取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ブロックなどの半具体物の操作を通して、位ごとに計算することができる。 (思・判・表) 12+23や25-13の計算は、図や式などを用いて考えて、10のまとまりを作って数えたり、位ごとに計算したりすればよいことに気づいている。 (主学) 2位数 + (2位数) や (2位数) - (2位数) の計算のしかたを、半具体物を使って考えようとしている。</p>	<p>2けたのたし算とひき算 くふうして計算のしかたを考えよう</p>	<p>①具体的な場面から(2位数) + (2位数) の立式をし、計算のしかたを考える。 ②具体的な場面から(2位数) - (2位数) の立式をし、計算のしかたを考える。</p>
2.2	<p>(知及技) 位ごとに計算する筆算のしかたとその意味がわかり、交換法則や結合法則が成り立つことを理解することができる。計算が筆算でできる。 (思判表力) 加法の筆算は位ごとに計算を繰り返せばよいことに気づき、既習事項をもとに図や式などを用いて表現し、計算のしかたを考える力を養う。 (学・人) ブロック操作と対応させて筆算のしかたを考えようとしたり、加法のきまりを活用しようとしたりする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 繰り上がりに気をつけて、2位数同士の加法の計算を筆算でできる。 位ごとに計算する筆算のしかたとその意味がわかり、交換法則や結合法則が成り立つことを理解している。 (思・判・表) 位ごとの計算に着目して、図や式などを用いて表現し、筆算のしかたを考えている。 (主学) 既習の計算をもとに、2位数同士の加法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	<p>たし算のひっ算 たし算のいみやしかたを考えよう</p>	<p>①加法の用いられている場面を式に表し、繰り上がりのない2位数の加法の計算のしかたを考える。 ②繰り上がりのない(1位数) + (2位数)、(2位数) + (1位数) の筆算を解く。 ③繰り上がりのある(2位数) + (2位数) の筆算のしかたがわかり、練習する。 ④2位数 + (2位数) で繰り上げて一の位が0になる筆算と、(2位数) + (1位数) で繰り上がりのある筆算のしかたを考える。 ⑤具体的な操作活動を通して、加法の交換法則に気づく。 ⑥3口の加法では、前の2口を先にたしても後の2口を先にたしても答えは同じになることに気づく。</p>
2.2	<p>(知及技) (2位数) - (2位数) の減法で、位ごとに計算する筆算のしかたとその意味を理解し、繰り下がりのないや、繰り下がりありの計算が筆算でできる。 (思判表力) 減法の筆算は位ごとの計算を繰り返せばよいことに気づき、既習事項をもとに図や式などを用いて表現し、計算のしかたを考える力を養う。 (学・人) ブロック操作と対応させて筆算のしかたを考えようとしたり、減法のきまりを活用しようとしたりする態度を養う。</p>	<p>(知・技) (2位数) - (2位数) の減法の計算を筆算でできる。 (2位数) - (2位数) の減法で、位ごとに計算する筆算のしかたとその意味を理解している。 (思・判・表) 位ごとの計算に着目して、図や式などを用いて表現し、筆算のしかたを考えている。 (主学) 既習の計算をもとに、2位数同士の減法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	<p>ひき算のひっ算 ひき算のいみやしかたを考えよう</p>	<p>①減法の適用場面を知り、式に表す。 ②加法の筆算をもとにして、繰り下がりのない(2位数) - (2位数) の筆算のしかたを考える。 ③(2位数) - (何十)、(2位数) - (1位数) の筆算のしかたを考える。 ④筆算形式の書き方やしかたを練習する。 ⑤繰り下がりのある(2位数) - (2位数) の筆算の練習をする。 ⑥(何十) - (2位数) や差が1位数になる筆算のしかたを考える。 ⑦繰り下がりのある(2位数) - (1位数) の筆算のしかたを考える。</p>

	<p>(知及技) 十進位取り記数法にのっとって3位数を表したり、数直線上に3位数の位置を表したりすることができる。また、10を単位とした加減ができる。 数を相対的な大きさからとらえるなど、数についての豊かな感覚をもつことができる。</p> <p>(思判表力) 10ずつ、100ずつまとめて数を数えればよいと考えたり、3位数の計算をするときに、同じ単位で計算していけばよいと考えたりする力を養う。</p> <p>(学・人) 身の回りの具体的なものの個数を10や100のまとまりにして数えたり、書き表したりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 十進位取り記数法の仕組みをもとに、1000までの数について、数えたり書き表したりすることができる。また、10を単位とした加法や減法ができる。 3位数の表し方、百の位の意味、数の大小や順序についてその仕組みを理解している。</p> <p>(思・判・表) 具体的なものの個数を数える活動を通して、十進位取り記数法の仕組みをもとに、3位数の表し方を考えている。また、10を単位とした加法や減法の計算のしかたを考えている。</p> <p>(主学) 具体的なものの個数を10や100のまとまりにして、数えようとしている。</p>	<p>1000までの数のあらしめ方やしくみをしらべよう</p>	<p>100より大きい数について ①操作と対応させながら、十進位取り記数法による3位数の読み方、表し方、書き方、百の位の意味を知る。 ②3位数の読み方、書き方、数構成について考え、3位数を読んだり書いたりする。 ③一の位や十の位が0のとき、またその両方が0のときの読み方や書き方を理解する。 ④100の単位を1ずつ多くし、100を10個集めた数を1000ということを知る。 ⑤3位数の数構成や数系列、数直線について理解する。 ⑥数をお金に置き換えて、何百何十を10の何個分と表したり、何百を100や10のまとまりで言い表したりする。 ⑦比較する位ごとの数字に着目して、3位数の大小を比べる。 ⑧>や<の記号を使って、数の大小を表す。 ⑨10のまとまりを使って、(何十)+(何十)、(百何十、何十)-(何十)の計算のしかたを考える。</p>
3 学期	<p>(知及技) (2位数)+(2位数)の加法と、その逆の減法や、簡単な3位数の加法、減法などで、位ごとに計算する筆算のしかたとその意味を理解し、繰り上がり・繰り下がりなしや、繰り上がり・繰り下がりありの計算が筆算でできる。</p> <p>(思判表力) 加法や減法の筆算は位ごとに計算を繰り返せばよいことに気づき、既習事項をもとに図や式などを用いて表現し、計算のしかたを考える力を養う。</p> <p>(学・人) ブロック操作と対応させて筆算のしかたを考えようとしたり、加法や減法のきまりを活用したりしようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) (2位数)+(2位数)の加法とその逆の減法や、簡単な3位数の加法、減法の計算を筆算でできる。 (2位数)+(2位数)の加法とその逆の減法や、簡単な3位数の加法、減法で、位ごとに計算する筆算のしかたとその意味を理解している。</p> <p>(思・判・表) 位ごとの計算に着目して、図や式などを用いて表現し、筆算のしかたを考えている。</p> <p>(主学) 既習の計算をもとに、2位数同士や簡単な3位数などの加法や減法の計算のしかたを考えようとしている。</p>	<p>大きい数のたし算とひき算 計算のいみやかたを考えよう</p>	<p>①(2位数)+(2位数)で、百の位に繰り上げる筆算のしかたを考える。 ②(2位数)+(2位数)で、百の位と十の位に繰り上げる筆算のしかたを考える。 ③一の位から繰り上げて百の位に波及する筆算のしかたを考える。 ④(何百)+(何百)の計算のしかたや、和が1000になる計算のしかたを考える。 ⑤(3位数)+(1,2位数)の計算のしかたを考える。 ⑥(百何十)-(2位数)で、百の位から繰り下げる筆算のしかたを考える。 ⑦(百何十)-(2位数)で、十の位からと百の位からの2回繰り下がりのある筆算のしかたを考える。百何)-(1,2位数)の筆算のしかたを考える。 ⑧何百)-(何百)の計算のしかたや、(千)-(何百)の計算のしかたを考える。 ⑨3位数)-(1,2位数)の計算のしかたを考える。</p>
1.1	<p>(知及技) ものさしを用い、cm、mmを単位として測ることができる。決まった長さの直線を引くことができる。また、簡単な長さの加法、減法の計算ができる。 長さを表す単位を知るとともに、長さを表すには、cm、mmの単位を用いばよいことを理解することができる。また、長さについての豊かな感覚をもつことができる。</p> <p>(思判表力) 普遍単位の必要性に気づき、長さの表し方を考え表現したり、1cmより短い長さの表し方や、長さの加減のしかたを考えたりする力を養う。</p> <p>(学・人) 普遍単位(cm、mm)を用いるよさに気づき、身の回りのものの長さを測定しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ものさしとcm、mmの単位を用いて長さを測ることができる。また、ものさしを使い、決まった長さの直線を引くことができる。簡単な長さの加法、減法ができる。 長さの単位の仕組みや測定の方法、cmとmmの関係を理解している。また、身の回りのものの大きさの見当をつけるなど、長さについての豊かな感覚をもつことができる。</p> <p>(思・判・表) 決められた単位をもとにして、その単位のいくつ分かで長さが表せる普遍単位の必要性に気づき、長さの表し方を考え表現している。 また、1cmより短い長さの表し方や、長さの加減のしかたを考えている。</p> <p>(主学) 普遍単位(cm、mm)を用いるよさに気づき、身の回りのものの長さを測定しようとしている。</p>	<p>長さ(1) 長さのくらべ方やあらしめ方を考えよう</p>	<p>①長さを測る道具を使って、身近なものの長さを測定する。 ②長さの単位cmを知る。 ③1cm目盛りの棒を使って、テープや線の長さを測定する。 ④単位mmを知る。1cm=10mmの関係をj知る。 ⑤cm、mmの単位で表された長さを大小比較し、等号や不等号を使って表す。 ⑥簡単な加法、減法の計算のしかたを理解し、計算する。</p>

<p>(知及技) 1Lますと1dLますを使って、かさを測ることができる。また、かさの加減の計算ができる。 かさの単位を使うとかさを正確に表せることや、単位同士の関係1L=10dL, 1L=1000mLを理解することができる。また、かさについての豊かな感覚をもつことができる。 (思判表力) 1.1 単位の大きさを決めると、かさを数で表すことができる普遍単位のよさに気づき、かさの表し方を考え表現する力を養う。 (学・人) L, dL, mLなどの普遍単位を用いることのよさに気づき、およその見当をつけて進んでかさを測定しようとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 1Lますと1dLますを用いて、かさの測定ができる。また、簡単なかさの加減の計算ができる。 決められた大きさの単位L, dL, mLを用いると、かさを誰にでもわかるように正確に表せることや、かさを測る単位と、単位同士の関係1L=10dL, 1L=1000mLを理解している。また、身の回りのものの大きさの見当をつけるなど、かさについての豊かな感覚をもつことができる。 (思・判・表) 単位の大きさを決めると、かさを数で表すことができるという普遍単位のよさに気づき、かさの表し方を考え表現している。 (主学) L, dL, mLなどの普遍単位を用いることのよさに気づき、およその見当をつけて進んでかさを測定しようとしている。</p>	<p>水のかさ かさのくらべ方やあらし方を考えよう</p>	<p>①かさの単位(L)と、その書き方を知り、1Lますを用いて測定する。 ②かさの単位(L)より小さい単位(dL)とその書き方を知る。 ③1L=10dLの関係がわかる。 ④かさの大小比較をする。 ⑤mLの単位を生活の中で探し、1L=1000mL, 1dL=100mLの関係を理解する。 ⑥加法と減法の簡単な練習問題を解く。</p>
<p>(知及技) ものの形の観察や構成・分類などの活動を通して、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。直角の概念や、三角形・四角形の定義や性質を理解することができる。また、図形についての豊かな感覚をもつことができる。 (思判表力) 1.1 ものの形についての観察や構成などの活動を通して、三角形や四角形について、分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだす力を養う。 (学・人) 日常事象の中から、身近な図形(三角形・四角形)を観察、分類することに取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) ものの形の観察や構成・分類などの活動を通して、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。直角の概念や、三角形・四角形の定義や性質を理解している。また、三角形や四角形の特徴をとらえるなど、図形についての豊かな感覚をもつことができる。 (思・判・表) ものの形についての観察や構成などの活動を通して、三角形や四角形について、違いに気づき分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。 (主学) 三角形や四角形をかいたり切ったり折ったりして、図形を観察、分類することに取り組もうとしている。</p>	<p>三角形と四角形 形をしらべてなかま分けしよう</p>	<p>①三角形や四角形に関心をもって、直線を使って動物を囲む。 ②3本の直線で囲まれた形を三角形ということを知る。 ③4本の直線で囲まれた形を四角形ということを知る。 ④格子点を利用して、いろいろな三角形、四角形をかく。 ⑤用語「辺」、「頂点」を知る。 ⑥三角形や四角形の辺や頂点の数を調べる。 ⑦紙を4つに折ってできた角の形を調べ、用語「直角」を知る。 ⑧長方形、正方形の定義を知る。 ⑨直角三角形の定義を知る。</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>			

令和5年度 小学部 3年（訪問教育I課程） 理科 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等			担当者名	
年間総時数 14時間 /週0.4時間	新しい理科3（東京書籍）				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (1) 物質・エネルギー (知及技)物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追求する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 (学・人)物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追求する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 (2) 生命・地球 (知及技)身の回りにおける生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)身の回りの生物、太陽と地面の様子について追求する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 (学・人)身の回りの生物、太陽と地面の様子について追求する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2.4	(知及技)(思判表力)(学・人) 植物を育てる中で、成長の過程や体のつくりに着目して、それらと比較しながら、植物の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技術を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、莖及び葉からできていることを理解している。 ②植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①植物の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②植物の成長のきまりや体のつくりについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①植物の成長のきまりや体のつくりについての事象・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②植物の成長のきまりや体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	種をまこう どれくらい育ったかな 花がさいたよ 実ができたよ	<ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡を使って種を観察する。 ・育てる植物を選んで、種をまく ・芽生えを観察して記録カードに記録する。(観察1) ・種が発芽すると子葉が出てくることをまとめる。 ・育てている植物の様子を観察して、記録カードに記録する。(観察1) ・植物の育ち方についてまとめる。 ・育てている植物の植え替えをする。 ・植物の苗を観察して体のつくりを調べ、記録する。 ・育ててきた植物の花が咲いた様子を観察して、記録カードに記録する。(観察1) ・観察記録を基に、これまでの植物の成長の様子をまとめる。 ・育てている植物の花が咲いた後の様子を観察して、記録カードに記録する。(観察1) ・これまでの観察記録を振り返り、植物の成長の様子をまとめる。
1.2		(知及技)(思判表力)(学・人) 昆虫を育てる中で、成長の過程や体のつくりに着目して、それらと比較しながら、昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 ②昆虫について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②昆虫の成長のきまりや体のつくりについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①昆虫の成長のきまりや体のつくりについての事象・現象に進んで他者と関わりながら問題解決しようとしている。	チョウを育てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・チョウの成虫の体のつくりを調べる。(動画視聴) ・昆虫の定義を知る。

2	<p>(知及技) (思判表力)(学・人) 風とゴムの力と物の動く様子に着目して、それらと比較しながら、風とゴムの力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①風の力は、物を動かすことができること、また風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 ②ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること理解している。 ③風とゴムの力の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①風とゴムの力の働きについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ②風とゴムの力の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①風とゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ②風とゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p>	風やゴムで動かそう	<p>風のはたらき ・風で動く車を作り、うちわであおいで車を動かす。 ・車に当てる風の強さをえて、車の動き方の違いを調べる。 (実験1) ・風の働きについて考え、風の強さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。 ゴムのはたらき ・ゴムを伸ばしたときのゴムの力を体感する。 ・ゴムで動く車を作り、車を動かす。 ・ゴムの伸ばし方を変えて、車の動き方の違いを調べる。 (実験2) ・ゴムの働きについて考え、ゴムを伸ばす長さの違いによる物の動き方の違いをまとめる。</p>
1.6	<p>(知及技) (思判表力)(学・人) 昆虫を探したり育てたりする中で、周辺の環境や体のつくりに着目して、それらと比較しながら、生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①生き物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 ②昆虫の成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 ③身の回りの生き物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ②生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>	こん虫を調べよう	<p>・昆虫などの動物を探して、どんな場所をすみかにしているか調べる。 ・トンボやバッタなどの体のつくりを調べ、チョウの体のつくりと比べながら、昆虫の体のつくりをまとめる。</p>
0.8	<p>(知及技) (思判表力)(学・人) 日陰や影の位置に着目して、それらと比較しながら、太陽と日陰や影の位置を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。 ②太陽と日陰や影の位置について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①太陽と日陰や影の位置について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ②太陽と日陰や影の位置について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①太陽と日陰や影の位置についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>	太陽とかげを調べよう	<p>・太陽の向きと影の向きとの関係調べ。(観察1) ・太陽の向きと影の向きとの関係についてまとめる。 ・午前と午後影の資料写真を見て、太陽の位置と影の向きの変り方についてまとめる。</p>
1.2	<p>(知及技) (思判表力)(学・人) 日なたと日陰や、光を当てたときの明るさやあたたかさに着目して、それらと比較しながら、日なたと日陰の地面の様子や光の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>(知・技) ①光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 ②物に日光を当てると、物の明るさやあたたかさが変わること理解している。 ③地面は太陽によってあたためられ、日なたと日陰では地面のあたたかさや湿度に違いがあることを理解している。 (思・判・表) ①日なたと日陰の地面の様子や光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 ②日なたと日陰の地面の様子や光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①日なたと日陰の地面の様子や光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</p>	太陽の光を調べよう	<p>・日なたと日陰の地面に手を当てるなどしたり、温度計の使い方を知り、日なたと日陰の地面の温度を測って地面は日光によってあたためられることをまとめる。 ・鏡を使って日光をはね返し、はね返した日光が当たった所の温度について調べる。 (実験1) ・はね返した日光が当たった所の明るさや温度についてまとめる。 ・日光を集めた所を小さくしたとき、明るく、あたたかくなることをまとめる。</p>

3 学期	1.2	(知及技)(思判表力)(学・人) 音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わること理解している。 ②音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②音の性質について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	音を出して調べよう	・紙や輪ゴムなどで楽器を作って音を出し、音を出しているときの楽器の様子について調べる。 ・楽器で音を出して音が出る時の物の様子についてまとめる。 ・音が大きいときと小さいときの楽器の震え方を調べる。(実験2) ・音の大きさと震え方についてまとめる。 ・音が伝わる時、音を伝える物が震えていることをまとめる。 ・糸電話で声を伝え合う。 ・学んだことをまとめる。
	1.2	(知及技)(思判表力)(学・人) 物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の形や体積と重さを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 ②物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 (思・判・表) ①物の形や体積と重さについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②物の形や体積と重さについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①物の形や体積と重さについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	物の重さをくらべよう	・形の違う粘土の重さを比べたり、粘土やアルミニウムはくの形を変えて、重さが変わるかどうか調べる。 (実験1) ・物の形と重さについてまとめる。 ・粘土の置き方を変えて、重さが変わるかどうか調べる。 ・塩と砂糖の体積を同じにして、重さを比べる。 (実験2) ・体積が同じでも、物によって重さが違うことをまとめる。
	1.2	(知及技)(思判表力)(学・人) 乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 ②電気を通す物と通さない物があることを理解している。 ③電気の回路について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②電気の回路について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	明かりをつけよう	・豆電球に明かりがつくときのつなぎ方を調べる。 ・豆電球に明かりがつくつなぎ方と回路についてまとめる。 ・回路にいろいろな物をつないで、電気を通す物を探す。 ・豆電球に明かりがつく回路のつなぎ方と電気を通す物について、学んだことをまとめる。
	1.2	(知及技)(思判表力)(学・人) 磁石を身の回りの物に近づけたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	(知・技) ①磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること、また、磁石に近づけると磁石になる物があることを理解している。 ②磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 ③磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ①磁石の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ②磁石の性質について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ①磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。	じしゃくにつけよう	・いろいろな物に磁石を近づけてみて、磁石につくかどうか調べる。(実験1) ・鉄は磁石につくことをまとめる。 ・磁石は離れていても鉄を引き付けるか調べる。 (実験2) ・磁石は離れていても鉄を引き付けることをまとめる。 ・磁石の極について知り、極の性質を調べる。 (実験3) ・磁石の極の性質をまとめる。 ・磁石についた鉄の性質についてまとめる。
	留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 3年（訪問教育 I 課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
年間総時数 7時間/ 週0.2時間		小学生の音楽3（教育芸術社）			
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 （知及技） 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人） 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2.4	（知及技） 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付くことができる。 （思判表力） 歌詞の内容や旋律の特徴にふさわしい歌い方や、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 （学・人） 学習に進んで取り組み、音楽活動する楽しさを味わう。	（知・技） 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 （思・判・表） 曲想と歌詞の内容と曲想との関わりに基づいたことを生かしながら曲の特徴を捉え、表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 （主学） 学習に進んで取り組み、音楽活動する楽しさを味わおうとしている。	歌 春の小川 茶つみ 音楽作り リズムでなかよく	・曲調を感じながらリズムを取ったり、身体で表現したり、鑑賞したりする。 ・楽器を使ってリズム打ちをする
		（知及技） リコーダーの音色などと曲想との関わりについて気付き、リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付ける。 （思判表力） リコーダーの響きと曲想との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 （学・人） リコーダーの演奏に興味・関心をもち、互いの音を聴き合いながら演奏する学習に進んで取り組む。	（知・技） リコーダーの音色などと曲想との関わりについて気付いている。 （思・判・表） リコーダーの響きと曲想との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴こうとしている。 （主学） リコーダーの演奏に興味・関心をもち、互いの音を聴き合いながら演奏する学習に進んで取り組もうとしている。	器楽 「リコーダーをふいてみよう」 鑑賞 「小鳥のために」 「ピタゴラスイッチ」 「きらきら星」	・リコーダーをふいて音を出してみよう。 ・リコーダーで演奏された曲を鑑賞する。 ・鑑賞した後、感想を発表する。
2 学期	2.6	（知及技） 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付くことができる。 （思判表力） 歌詞の内容や旋律の特徴を捉えたり、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 （学・人） 歌の旋律と曲想との関わりに興味関心を持つことができる。	（知・技） 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 （思・判・表） 歌詞の内容や旋律の特徴を捉え、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもとうとしている。 （主学） 歌の旋律と曲想との関わりに興味関心を持つとうとしている。	歌 うさぎ ふじ山 すてきな魔法使い 音楽作り 手拍子でリズム	・曲調を感じながらリズムを取ったり、身体で表現したり、鑑賞したりする。 ・拍に乗って、手拍子でリズムを打つ。（四分音符、八分音符）
		（知及技） 楽器の音色やその組合せ、旋律の特徴などと曲想との関わりについて気付き、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり、楽器の組合せや音の重ね方を生かして音楽をつくったりする技能を身に付ける。 （思判表力） 楽器の音色や旋律の特徴が生み出すよさなどを見いだしながら聴いたり、楽器の音色を生かした演奏の仕方、音の重ね方や反復など音楽の仕組みを用いた音楽の作り方について、思いや意図をもったりする。 （学・人） 楽器の音色や旋律の特徴に着目し、曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴いたり、楽器の音色の特徴を生かして互いの音を聴き合いながら演奏したり、楽器の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽をつくったりする学習に進んで取り組む	（知・技） 曲想やその変化と、リズムや旋律との関わりについて気づいている。 楽器の音色の違い、旋律の特徴や反復と曲想との関わりについて気づいている。 （思・判・表） 音色やリズム、旋律と曲想との関わりについて考え、体を動かすなどして曲や演奏の良さを見いだし、曲全体を味わって聞いている。 （主学） 楽器の音色、旋律の特徴や反復や変化が生み出す曲の良さを感じながら、聴く学習に進んで取り組もうとしている。	鑑賞 メヌエット トランペット吹きの休日 アレグロ	・曲を鑑賞する。 ・鑑賞した後、感想を発表する。

3 学 期	1	<p>(知及技) 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付くことができる。 (思判表力) 歌詞の内容や旋律の特徴を捉えたり、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (学・人) 歌の旋律と曲想との関わりに興味関心を持つことができる。</p>	<p>(知・技) 歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりについて気付いている。 (思・判・表) 歌詞の内容や旋律の特徴を捉え、手拍子のリズムの選び方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもとうとしている。 (主学) 歌の旋律と曲想との関わりに興味関心を持つとうとしている。</p>	<p>歌 七つの子 エーデルワイス</p>	<p>・曲調を感じながらリズムを取ったり、身体で表現したり、鑑賞したりする。</p>
	2	<p>(知及技) 日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付き、即興的に音を選んで旋律をつくる技能を身に付ける。 (思判表力) 日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり、旋律の音の動きや始め・終わりの音に着目した旋律のつくり方について思いや意図をもったりする。 (学・人) 祭り囃子を聴いたり、友達と協働して旋律をつくったりする学習を通して、郷土に伝わる音楽や楽器の音への興味・関心を高める。</p>	<p>(知・技) 日本の楽器の音色やリズムなどと曲想との関わりについて気付いている。 (思・判・表) 日本の楽器の音色やリズムなどの特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を聴いたり。 (主学) 祭り囃子を聴いたり、郷土に伝わる音楽や楽器の音への興味・関心を持つとうとしている。</p>	<p>鑑賞 神田囃子 器楽（地域の楽器） パーランクー 唐船ドリー</p>	<p>・日本の音楽を鑑賞する。 ・鑑賞した後、感想を発表する。 ・パーランクーを沖縄の音楽に合わせて叩く。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 3年（訪問教育I課程） 図画工作科 年間指導計画

単位数 /配当時数		教科書／副教材等			担当者名
年間総時数 14時間 /週0.4時間		図画工作3・4上（日本文教出版）			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	0.4	(知及技) 水彩絵の具と水でいろいろな色を作ったり、筆を使ってかくときの感覚や行為を通して色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用の絵の具などについて経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) いろいろな色をつくり、筆を使ってかいたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいことなどについて感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 色の感じ、形の感じ、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に自分のイメージを持つ。 (学・人) 進んで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思いついたことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知・技) 水彩絵の具と水でいろいろな色を作ったり、筆を使ってかくときの感覚や行為を通して色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かるようにしている。 水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用の絵の具などについて経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表わそうとしている。 (思・判・表) いろいろな色をつくり、筆を使ってかいたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいことなどについて感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 色の感じ、形の感じ、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に自分のイメージを持とうとしている。 (主学) 進んで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思いついたことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	絵の具+水+筆=いいかんじ	○水彩絵の具の基本的な使い方を知る。 ○絵の具と水を使って、いろいろな形を作ったり、筆の使い方を工夫したりして表し方を試す。
	1.2	(知及技) 葉を集めて、身近な自然の形八尾色を見るとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 水彩絵の具を適切に扱うとともに、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 集めた葉や色から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 (学・人) 進んで葉を集めて、身近な自然の形や色の面白さを感じ取る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知及技) 葉を集めて、身近な自然の形や色を見るとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かるようにしている。 水彩絵の具を適切に扱うとともに、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表わそうとしている。 (思判表力) 集めた葉や色から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 (主学) 進んで葉を集めて、身近な自然の形や色の面白さを感じ取る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	みよなしげん形・色	○好きな葉を見付け葉っぱカードにする。 ○混色していろいろな緑色をつくる。 ○つくった緑色や葉カードを生かして絵にする。
二学期	1.2	(知及技) 吹き上がる風の中で、浮かんだり動いたりするものを作るとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 ポリ袋、PETテープなどを適切に扱うとともに、はさみやセロテープなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 材料が浮いたり動いたりする様子から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。風に飛ばしながら自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (学・人) 進んで吹き上がる風の中で、浮かんだり動いたりするものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知及技) 吹き上がる風の中で、浮かんだり動いたりするものを作るとき感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かるようにしている。 ポリ袋、PETテープなどを適切に扱うとともに、はさみやセロテープなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表わそうとしている。 (思判表力) 材料が浮いたり動いたりする様子から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。風に飛ばしながら自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持とうとしている。 (主学) 進んで吹き上がる風の中で、浮かんだり動いたりするものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	吹き上がる風のにせて	○送風機等で作った風で材料をお浮かべるなどしながら、表したいことを考える。 ○材料を組み合わせるなどして、形を作る。 ○できた作品を風に飛ば作品の面白さを感じる。
	1.2	(知及技) ゴムで動く仕組みから、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 ゴム、たこ糸、カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに紙材や描画材などについての経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 仕組みを動かして感じたことや想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。動かすなどして自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (学・人) 進んでゴムの力で動く仕組みから、思いついたものを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。	(知及技) ゴムの力で動く仕組みから、思いついたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かるようにしている。 ゴム、たこ糸、カッターナイフ、接着剤などを適切に扱うとともに紙材や描画材などについての経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表わそうとしている。 (思判表力) 仕組みを動かして感じたことや想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。動かすなどして自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持とうとしている。 (主学) 進んでゴムの力で動く仕組みから、思いついたものを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。	ゴムゴムパワー	○教科書等を見て、動く仕組みを知り、材料等を工夫してつくる。

	<p>(知及技) 詩や物語から想像を広げて絵に表す時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン、パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 詩や物語を読んで感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。(学・人) 進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 詩や物語から想像を広げて絵に表す時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。クレヨン、パス、水彩絵の具を適切に扱うとともに、クレヨン、パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 詩や物語を読んで感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (主学) 進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	ことばから形・色	<p>○詩や物語から思い浮かべた様子や感じた雰囲気や色を話し合う。 ○詩や物語から思い浮かべた様子や感じた雰囲気や色にあう表し方を考え、絵に表す。</p>
	<p>(知及技) 光を通すときの材料を組み合わせたまま、思いついた生き物を表すときの感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについて経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 透明な材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。(学・人) 進んで光を通す材料を組み合わせたまま、思いついた生き物を表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 光を通すときの材料を組み合わせたまま、思いついた生き物を表すときの感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについて経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 透明な材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (主学) 進んで光を通す材料を組み合わせたまま、思いついた生き物を表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	クリスタルアニマル	<p>○光を通す材料に触れ、どのような生き物が表せそうか考える。 ○材料に色を塗ったり、光を通したり組み合わせたりしながら、つくる。</p>
	<p>(知及技) 版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す時の感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 版画の用具を適切に扱うとともに、はさみ、接着剤、版にする材料についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくる。 (思判表力) 材料を組み合わせて版を作りながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。(学・人) 進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す時の感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かる。 版画の用具を適切に扱うとともに、はさみ、接着剤、版にする材料についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくる。 (思判表力) 材料を組み合わせて版を作りながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと等について感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (主学) 進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	いろいろうつつて(版画)	<p>○教科書を見て、活動について知り、興味を持つ。 ○材料に触れながら、表したいことを考え、版を作る。 ○刷る。</p>
三学期	<p>(知及技) 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときに感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープ、などについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくる。 (思判表力) 場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思いつき、新しい形や色などを思いつきながらどのようにかたづけるかについて考える。 自分たちが造り替えた場所に造形的な面白さ、造形的な活動、いろいろな作り方などについて感じ取ったりし自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。(学・人) 進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 身近な場所を「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえるときに感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに、はさみ、セロハンテープ、などについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくる。 (思判表力) 場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思いつき、新しい形や色などを思いつきながらどのようにかたづけるかについて考えようとしている。 自分たちが造り替えた場所に造形的な面白さ、造形的な活動、いろいろな作り方などについて感じ取ったりし自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (主学) 進んで場所の形や色などを生かして、「小さな自分」のお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	「小さな自分」のお気に入り	<p>○教科書を見て、活動について知り、興味を持つ。 ○「小さな自分」の目線で良いと思う場所を見付ける。 ○選んだ場所でポーズをとり写真を撮影する。 ○場所にあるものを生かしながら、「小さな自分」を飾る。</p>
	<p>(知及技) 生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土で作るときに感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 空き容器、水彩絵の具などを適切に使うとともに、紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 使う様子を想像したり材料を組み合わせたように感じたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 実際に使うなどして自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。(学・人) 進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土で作るときに感覚や行為を通して形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 空き容器、水彩絵の具などを適切に使うとともに、紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 使う様子を想像したり材料を組み合わせたように感じたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 実際に使うなどして自分たちの作品の造形的な良さや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に自分のイメージを持つ。 (主学) 進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	空きようきのへんしん	<p>○家で使いた小物入れについて考える。 ○空き容器の形を変えたり、組み合わせたりしてつくる。</p>

	<p>(知及技) 磁石を使って楽しく動かすものをつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かる。 段ボール、磁石を適切に扱うとともに、紙材や接着剤、切る用具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 (思判表力) 磁石の仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさ面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 (学・人) 進んで磁石を使って、楽しく動かすものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>	<p>(知及技) 磁石を使って楽しく動かすものをつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどが分かるようとしている。 段ボール、磁石を適切に扱うとともに、紙材や接着剤、切る用具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表わそうとしている。 (思判表力) 磁石の仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えようとしている。 遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさ面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げようとしている。 形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもとうとしている。 (主学) 進んで磁石を使って、楽しく動かすものを作る学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>	<p>マグネットマジック</p>	<p>○磁石の反発する性質を生かした仕組みを作り、材料を組み合わせながらつくる。 (理科：単元「じしゃくの性質」に関連して行う)</p>
<p>引継ぎ等</p>				

令和5年度 小学部 3年（訪問教育Ⅰ課程） 体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
年間総時数 14時間 /週0.4時間		保健：「小学保健3・4年」			
目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 （知・技） 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身につけるようにする。 （思・判・表） 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 （学・人） 各種の運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動する態度を養う。また、健康の大切さに気づき、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3.6	（知・技） 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな（教師）と関わり合ったりすることができるようにする。 （思・判・表） 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達（教師）に伝えることができるようにする。 （学・人） 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。	（知・技） 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな（教師）と関わり合ったりしている。 （思・判・表） 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達（教師）に伝えようとしている。 （主学） 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりしようとしている。	体ほぐしの運動	○リズム体操をする。
		（知・技） 表現運動の行い方を知るとともに、表現したい感じを表現したり、リズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 （思・判・表） 自己の能力に適した課題を見付け、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えることができるようにする。 （学・人） リズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。	（知・技） 表現運動の行い方を知るとともに、表現したい感じを表現したり、リズムに乗ったりして踊ろうとしている。 （思・判・表） 自己の能力に適した課題を見付け、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに考えたことを友達に伝えようとしている。 （主学） リズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気をつけたりしようとしている。	表現運動	○動物や身近な生活の動き、スポーツ等の動きを真似る。 ○ロックやサンバのリズムの特徴を捉えて踊る。
	保健 0.4	（知・技） 心や体の調子がよい上体が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解することができる。 （思・判・表） 健康でいるためには何が大切かを考え、書いたり伝えたりすることができる。 （学・人） 健康の状態や健康の良さについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができる。	（知・技） 心や体の調子がよい上体が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解している。 （思・判・表） 健康でいるためには何が大切かを考え、書いたり伝えたりしようとしている。 （主学） 健康の状態や健康の良さについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組もうとしている。	保健 健康って、なに （「自分の体調を伝えよう」）	○健康（「元気」に置き換える）な時はどんなときが考える。 ○心や体が元気なときは運動や食事、休養、睡眠など、一日の生活の仕方と部屋の明るさや換気等身の回りの環境が関係していることを話し合う。 ○自分の体調を伝えることを確認する。
2 学期	5.6	（知・技） 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな（教師）と関わり合ったりすることができるようにする。 （思・判・表） 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達（教師）に伝えることができるようにする。 （学・人） 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。	（知・技） 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな（教師）と関わり合ったりしている。 （思・判・表） 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達（教師）に伝えようとしている。 （主学） 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりしようとしている。	体ほぐしの運動	○ラジオ体操、リズム体操をする。

<p>(知及技) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、優しいゲームをすることができる。</p> <p>(思判表力) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 運動に進んで取り組み、規則を守って誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができる。</p>	<p>(知・技) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、優しいゲームをしている。</p> <p>(思・判・表) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 運動に進んで取り組み、規則を守って誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりしようとしている。</p>	<p>ゲームをしよう①</p> <p>※運動会頑張ろう</p>	<p>○ボール等を使った基本的な運動をする(投げる、取る、転がす等)</p> <p>○運動会に向けて演目の練習をする。 (運動会の種目が分かり、自分でできる方法で練習に取り組むことができる。)</p>
---	---	---------------------------------	--

3 学 期	保健 0.4	<p>(知及技) 毎日を元気に過ごすためには体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 学習したことと自分の生活と関連付けて体の清潔について考え書いたり伝えたりできる。</p> <p>(学・人) 体や衣服などの清潔に関心を持ち、進んで学習活動に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 毎日を元気に過ごすためには体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 学習したことと自分の生活と関連付けて体の清潔について考え書いたり伝えたりしている。</p> <p>(主学) 体や衣服などの清潔に関心を持ち、進んで学習活動に取り組もうとしている。</p>	保健 体をせいけつに	<p>○体や衣服を清潔に保つために、毎日どんなことをしているか振り返る。</p> <p>○どんなときに手洗いをしたり、ハンカチや衣服の取り替えたりするの か考える。</p> <p>○学習のまとめをする。</p>
	3.6	<p>(知及技) 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな(教師)と関わり合ったりすることができるようにする。</p> <p>(思判表力) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達(教師)に伝えることができるようにする。</p> <p>(学・人) 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。</p>	<p>(知・技) 体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気づいたり、みんな(教師)と関わり合ったりしている。</p> <p>(思・判・表) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達(教師)に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 体ほぐしの運動に進んで取り組み、決まりを守り誰とも仲良く運動したり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりしようとしている。</p>	体ほぐしの運動	○リズム体操をする。
		<p>(知及技) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、優しいゲームをすることができる。</p> <p>(思判表力) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 運動に進んで取り組み、規則を守って誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができる。</p>	<p>(知・技) 運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、優しいゲームをしている。</p> <p>(思・判・表) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えようとしている。</p> <p>(主学) 運動に進んで取り組み、規則を守って誰とも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友達おの考えを認めたり、場や用具の安全に気をつけたりしようとしている。</p>	ゲームをしよう②	○ボールを使ったゲームをする (シュートゲーム、ボウリング等)
	保健 0.4	<p>(知及技) 健康の保持増進には、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解することができる。</p> <p>(思判表力) 学習したことと自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えることができる。</p> <p>(学・人) 自分の生活を見直すことで、自分でできることに気づき、意欲的に実践することができる。</p>	<p>(知・技) 健康の保持増進には、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解している。</p> <p>(思・判・表) 学習したことと自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えている。</p> <p>(主学) 自分の生活を見直すことで、自分でできることに気づき、意欲的に実践しようとしている。</p>	保健 元気に過ごすために	<p>○自分の一日を振り返る。</p> <p>○元気に過ごすために、自分でできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出後の手洗い、 ・無理はしない、疲れたら休む ・テレビやゲームは時間を決めてする等
	留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部 3年（訪問教育 I 課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
年間総時数 7時間/ 週0.2時間		小学どうとく ゆたかな心 3年			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解の基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	0.8	◎自分の心に正直に、真心をもって明るく生活しようとする。 【理解、判断力】 真心をもって正直に行動すれば、心は晴れ晴れとして明るくなることや、自分にも真心があることに気づく。 【心情】 正直な心をもった人の行動や思いに、感動する。 【実践意欲と態度】 自分の心に正直に行動しようとする意欲をもつ。	・正直な心で過ごすことよさについて考えることができるようになったか。(多面的・多角的な見方) ・大ちゃんの行動と重ねて、正直な心で過ごすよさについて考えることができるようになったか。(自分自身との関わり)	千ばづる 【しょうじきな心】	1 「千ばづる」を読んで、正直のよさについて考える。 2 正直に過ごすことよさについてまとめる。
	0.8	◎受け継がれ、受け渡していくという生命のつながりが分かり、生命を大切に生きていこうとする。 【理解、判断力】 自分の生命は、過去から受け継がれたものであり、未来に受け渡していくものであることが分かる。 【心情】 受け継がれ、受け渡していく生命に尊さや不思議さを感じる。 【実践意欲と態度】 受け継がれ、受け渡していく生命の重さを自覚し、生命を大切に生きていこうとする。	・命は過去から受け継ぐだけでなく、未来へ受け渡していく大切なものであると考えられるようになったか。(多面的・多角的な見方) ・校ちゃんの命と同じように、自分の命もまた受け継ぎ受け渡していく大切なものだと考えられるようになったか(自分自身との関わり)	いのちのまつり	1 「いのちのまつり」を読んで、命のつながりについて考える。 2 「慰霊の日」に向けて関する絵本を読む。「命の大切さ」「平和の尊さ」について触れる。 国語「ちいちゃんのかげおくり」
	0.6	◎郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に進んで参加しようとする心情を育む。 【理解、判断力】 郷土の伝統と文化が、現在でも伝えられていることが分かる。 【心情】 郷土の伝統と文化を大切に、守っていこうとする人々の心に共感する。 【実践意欲と態度】 郷土の伝統と文化を大切に、郷土の伝統行事に積極的に参加しようとする。	・地域の伝統や文化を守ることについて、様々な視点から考えられるようになったか。(多面的・多角的な見方) ・自分たちの住む地域に伝わる習慣や行事などを見つめ直すを通して、その意味や大切さを考えられるようになったか(自分自身との関わり)	キツネおどり	1 「キツネおどり」を読んで、伝統や文化を守る大切さを考える。 2 自分たちの住む地域の様子について、改めて見直して話し合う。(エイサー等)
	0.8	◎自分たちは、高齢者に支えられて生活していることを知り、高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。 【理解、判断力】 高齢者は、長い人生を過ごして豊かな経験に基づく知恵をもっていることが分かる。 【心情】 現在の生活の礎を築いた、高齢者の思いや行動に感動する。	・のび君がおばあちゃんをすごいと思った理由を調理するときの手際よさや願い、昔の人の知恵の視点から考えるようになったか(多面的・多角的な見方) ・生活を支える高齢者の存在を、じぶんたちの、安全で気持ちのよい生活の場面に重ねて考えるようになったか。(自分自身との関わり)	おばあちゃんのおせち	1 自分たちは、日ごろどんな人にお世話になっているかについて考える。 2 「おばあちゃんのおせち」を読み、自分たちの生活を支えてくれている人への感謝の心について話し合う。(敬老の日と関連づける)
	0.8	◎広い心をもち、相手の失敗を許すことができる。 【理解、判断力】 失敗はだれにでもあるから、許す心も必要であることが分かる。 【心情】 お姉さんの他者に対する寛容な気持ちに共感する。 【実践意欲と態度】 寛容のよさについて理解し、進んで実践しようとする。	・けいことお姉さんの言動から、それぞれの心の様子を捉え、相手を許す広い心について考えることができるようになったか。(多面的・多角的な見方) ・相手の失敗を許せる広い心について、自らの体験などと重ねて考えられるようになったか。(自分自身との関わり)	わたしだって	1 失敗について考える。 2 「わたしだって」を読み、寛容な心について話し合う。

2 学 期	0.8	<p>◎自分はいろいろな人に支えられていることを知り、それらの人々に尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。</p> <p>【理解, 判断力】 自分たちの生活を支えるために、たくさんの人々が幸せを願って働いていることが分かる。</p> <p>【心情】 自分たちの生活を支えるために働いている、たくさんの人々の心や行動に感動する。</p> <p>【実践意欲と態度】 自分たちを支えてくれている人々の心や行為に尊敬の念を抱き、感謝の心をもって生活していこうとする。</p>	<p>・自分たちの生活を支えてくれる人々への感謝について様々な視点から考えることができるようになったか。(多面的・多角的な見方)</p> <p>・自分たちの生活を支えてくれる人々のことを想起し、考えを深めることができるようになったか。(自分自身との関わり)</p>	<p>ほく知らなかったよ</p>	<p>1 「ほく知らなかったよ」を読み、感謝の心について話し合う。</p> <p>2 自分たちの生活を支えてくれている人について考え話し合う。</p> <p>勤労感謝の日と関連づける</p>
	0.8	<p>◎家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。</p> <p>【理解, 判断力】 両親や祖父母は、家族を支えるために頑張ってきたことが分かる。</p> <p>【心情】 自分のことを大切に思う母の気持ちを知り心が動く。</p> <p>【実践意欲と態度】 家族に感謝の心を持ち、自分にできることをしようとする。</p>	<p>・家族への感謝の気持ちをもつことの大切さについて多面的に捉え、様々な考え方ができるようになったか(多面的・多角的な見方)</p> <p>・まる子の立場を自分と重ねて考え、家族への感謝の気持ちをもつことの大切さを感じられるようになったか。(自分自身との関わり)</p>	<p>お母さん、かぜでねこむ — ちびまる子ちゃん —</p>	<p>1 「お母さん、かぜでねこむ」を読み、家族のよさについて考える。</p> <p>2 自分の家族について考える。</p>
3 学 期	0.8	<p>◎自分自身の特徴に気づき、それを磨き上げて、光り輝く特長にしていこうとする。</p> <p>【理解, 判断力】 特徴を磨き上げることで光り輝く特長となること、その磨き上げ方が分かる。</p> <p>【心情】 光り輝く特長に磨き上げていこうとする心を、すばらしいと感じる。</p> <p>【実践意欲と態度】 自分自身の特徴を、光り輝く特長に磨き上げていこうとする。</p>	<p>・内村選手が「ひみつ」を実行できた理由について、様々な視点から考えられるようになったか。(多面的・多角的な見方)</p> <p>・自分自身にも磨き上げられる特徴があることやその特徴を磨いていこうとすることを考えられるようになったか。(自分自身との関わり)</p>	<p>世界一うつくしい体そうをめざして — 内村航平 —</p>	<p>1 「世界一うつくしい体そうをめざして」を読み、特徴を特長として磨いていくことの大切さについて考える。</p> <p>2 自分の特徴をこれからどうしていきたいかを考える。</p>
	0.8	<p>◎他国の人々の生活や文化を理解し、大切にしていこうとする。</p> <p>【理解, 判断力】 他国の人々の生活や文化を、自分たちとの共通点や相違点を見いだして理解する。</p> <p>【心情】 他国の人々が自分たちと同じようにその生活や文化を大切にしていることに心が動く。</p> <p>【実践意欲と態度】 他国の人々の生活や文化の大切さを理解したうえで、自分にできることをしていこうとする。</p>	<p>・アフガニスタンの子どもたちから、生活や文化を大切にすることは同じであることを考えられるようになったか。(多面的・多角的な見方)</p> <p>・自分の生活と他国とのつながりを振り返り、考えを深められるようになったか。(自分自身との関わり)</p>	<p>海をわたるランドセル</p>	<p>1 教材の題名から内容を想像する。</p> <p>2 「海をわたるランドセル」を読み、国際理解と国際親善の大切さについて考える。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 3年（訪問教育 I 課程） 外国語活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
年間総時数 7時間/ 週0.2時間		Let's Try! 1(文部科学省)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気落ちなどを伝えあう力の素地を養う。 (学・人) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	0.6	(知及技) 世界にはさまざまな言語があることに気づくとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 (思判表力) 名前を言って挨拶をしよう。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。	(知・技) 世界にはさまざまな言語があることに気づくとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しもうとしている。 (思・判・表) 名前を言って挨拶をしようとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとしている。	Unit1 Hello! あいさつをしようと まぢになろう	・世界の様々な言語での挨拶を知る。 ・自分の名前を伝え、挨拶をする。
	0.8	(知及技) 表情やジェスチャーの大切さに気づき、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現になれ親しむ。 (思判表力) 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をしよう。 (学・人) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。	(知・技) 表情やジェスチャーの大切さに気づき、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をしようとしている。 (主学) 表情やジェスチャーをつけて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとしている。	Unit2 How are you? ごきげんいかが	・(先生や家族)友達と挨拶をしてジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。
	0.8	(知及技) 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1から20までの数の言い方や数の尋ね方になれ親しむ。 (思判表力) 数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。	(知・技) 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1から20までの数の言い方や数の尋ね方になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 数について尋ねたり答えたりして伝え合うようとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとしている。	Unit3 How many? 教えてあそぼう	・身の回りのものの数や、好きな漢字の画数を尋ねたり答えたりして伝え合う。
0.8	0.8	(知及技) 多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気づき、色の言い方や好みを表したりすきかどうかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しむ。 (思判表力) 自分の好みを伝え合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。	(知・技) 多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気づき、色の言い方や好みを表したりすきかどうかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の好みを伝え合うようとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとしている。	Unit4 I like blue. すきなものをつたえよう	・自分の好きなものについて話したり、質問に答えたりする。
	0.8	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しむ。 (思判表力) 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合うようとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。	Unit5 What do you like? 何が好き?	・どのようなものが好きかを尋ねたり、答えたりして伝え合う。

2 学 期	0.8	(知及技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の大文字とその読み方になれ親しむ。 (思判表力) 自分の姓名の頭文字を伝え合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	(知・技) 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の大文字とその読み方になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 自分の姓名の頭文字を伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。	Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし	・文字のカードを使って、自分の姓名の頭文字を伝え合う。
	0.8	(知及技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現になれ親しむ。 (思判表力) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いに気づき、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。	Unit7 This is for you. カードをおくろう	・プレゼントするカードを作るために、ほしい色や形を尋ねたり答えたりする。 ・作成したカードを見せて紹介する。
3 学 期	0.8	(知及技) 外来語とそれが由来する英語の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、あるものが何かを尋ねたり、答えたりする表現に親しむ。 (思判表力) クイズを出したり答えたりし合う。 (学・人) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	(知・技) 外来語とそれが由来する英語の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、あるものが何かを尋ねたり、答えたりする表現に親しもうとしている。 (思・判・表) クイズを出したり答えたりし合おうとしている。 (主学) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。	Unit8 What's this? これなあに？	・身の回りのものに関するクイズを作って、相手に伝える目的を持って動作を交えながら尋ねたり答えたりする。
	0.8	(知及技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気づき、誰かと尋ねたり答えたりする表現になれ親しむ。 (思判表力) 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 (学・人) 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	(知・技) 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気づき、誰かと尋ねたり答えたりする表現になれ親しもうとしている。 (思・判・表) 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かっている。 (主学) 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとしている。	Unit9 Who are you? きみはだれ？	・絵本の読み聞かせを聞いて、身の回りの物にかんする簡単な語句や基本的な表現とそれを表すイラストなどを結びつける。
	留意点 引継ぎ等				

令和5年度 小学部3年（訪問教育 I 課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 /配当時間		教科書／副教材等			担当者名
年間時数7時間 /週0.2時間		参考図書：マークの図鑑、社会科地図帳等			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 探求的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解できるようにする。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して・まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 ・ 2 学期 ・ 3 学期	0.4	(知及技) 「総合的な学習の時間」について、学習の進め方を教師と話し合う。 (思判表力) 自分が学習したいことを本などからイメージして決め、教師に伝えることができる。 (学・人) 決めたテーマがわかり、意欲的に取り組もうとすることができる。	(知・技) 「総合的な学習の時間」について、学習の進め方を教師と話し合おうとしている。 (思・判・表) 自分が学習したいことを本などからイメージして決め、教師に伝えようとしている。 (主学) 決めたテーマがわかり、意欲的に取り組もうとしている。	「総合的な学習の時間って何？」	・「総合的な学習の時間」に学習することを先生と話し合い、決める。
	5.8	(知及技) 自分の身の回りのあるマーク、生活に関わりのあるマークについてその働き等を知り、自分の暮らしとつながりや関わり気づくことができる。 (思判表力) マークについて興味関心を持つ。 インターネットや図鑑等でマークの意味について調べ、相手に伝わりやすく、表に書き表すことができる。 (学・人) 課題に向けて、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 自分の身の回りのあるマーク、生活に関わりのあるマークについてその働き等を知り、自分の暮らしとつながりや関わり気づいている。 (思・判・表) マークについて興味関心をもっている。 インターネットや図鑑等でマークの意味について調べ、相手に伝わりやすく、表に書き表わそうとしている。 (主学) 課題に向けて、主体的に取り組もうとしている。	「身近にあるマーク・生活に関わりのあるマーク」	・マークが何かを知る。 ・見たことのあるマーク、自分の生活に関わりのあるマークについて調べ、まとめる。(どんな所にあるのかを調べる。)
	0.8	(知及技) 自分の身の回りのあるマーク、生活に関わりのあるマークについてその働き等を知り、自分の暮らしとつながりや関わり気づくことができる。 (思判表力) わかったことを相手にわかりやすく発表することができる。 (学・人) 課題に向けて、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 自分の身の回りのあるマーク、生活に関わりのあるマークについてその働き等を知り、自分の暮らしとつながりや関わり気づいている。 (思・判・表) わかったことを相手にわかりやすく発表しようとしている。 (主学) 課題に向けて、主体的に取り組もうとしている。	「調べたことを発表しよう」	・学校の友達や先生に自分で調べたことを発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 小学部 3年（ 訪問教育 I 課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	教科書／副教材等	担当者名
年間総時数 7時間 /週0.2時間		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標
 (知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1.4	(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。 (思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。 (学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。 (思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。 (主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学校行事】 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 遠足的行事 ・春の遠足	儀式的行事 ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清新な気分を味わう。 遠足的行事 ・平素と異なる自然や文化に触れて親しむ。集団活動を通して、公衆道徳などの体験を積み、よりよい人間関係を形成する。
		(知及技)学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの良さや大切さを感じるができる。 (思判表力)自分の意見を伝えたり他者の意見を聞いたりする中で、多様な意見があることを知り、それらを認め合うことができる。 (学・人)多様な他者とよりよい人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養うことができる。	(知・技)学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの良さや大切さを感じようとしている。 (思・判・表)自分の意見を伝えたり他者の意見を聞いたりする中で、多様な意見があることを知り、それらを認め合うようとしている。 (主学)多様な他者とよりよい人間関係を形成し、協働して日常生活の向上を図ろうとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」	楽しく豊かな学級生活を送るためのさまりやルールについて友達や教師と一緒に話し合ったり、決めたことに対して一緒に取り組んだりする。 ・始まりの会の取り組み
		(知及技)基本的な生活習慣や節度ある生活の大切さを理解し、行動することができる。 (思判表力)自己の生活を振り返って課題に気付き、解決に向けて話し合ったり、自分に合った方法を実践したりすることができる。 (学・人)自己の目標に向かって主体的に取り組む、基本的な生活習慣を身に付け、進んで楽しく豊かな学級、学校生活をつくろうとする態度を養うことができる。	(知・技)基本的な生活習慣や節度ある生活の大切さを理解し、行動しようとしている。 (思・判・表)自己の生活を振り返って課題に気付き、解決に向けて話し合ったり、自分に合った方法を実践したりしようとしている。 (主学)自己の目標に向かって主体的に取り組む、基本的な生活習慣を身に付け、進んで楽しく豊かな学級、学校生活をつくろうとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	自己の生活上の課題を見だし、教師や友達と一緒に改善に向けて話し合ったり取り組んだりする。 ・身近な人に挨拶をする ・ルールやマナー、適切な言葉遣いを意識する ・規則正しい生活をする ・持ち物の整理整頓をする 等
		(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。 (思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。 (学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。	(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。 (思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。 (主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」	キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つける、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等
		(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。 (思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。 (学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。 (思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。 (主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。	【児童会活動】 ・児童集会	児童集会 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。
		(知及技)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解することができる。 (思判表力)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方考えたり、自分に合った方法を意思決定したりすることができる。 (学・人)基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養うことができる。	(知・技)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進の大切さを理解しようとしている。 (思・判・表)基本的な生活習慣や心身の健康の保持増進を意識した行動の仕方考えたり、自分に合った方法を意思決定しようとしている。 (主学)基本的な生活習慣を身に付けたり、心身の健康の保持増進をしたりしようとする態度を養おうとしている。	【学級活動】 「(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」	夏休みの過ごし方について考える。 ・早寝早起き、規則正しい生活 ・適度な運動習慣 ・家の人のお手伝い 等

2 学期	2	<p>(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。</p> <p>(学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。</p> <p>(主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>【学校行事】 儀式的行事 ・始業式 ・終業式 健康安全の行事 ・運動会</p>	<p>儀式的行事 ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清新な気分を味わう。 健康安全の行事 ・体育的な集団活動を通して、規律ある集団行動の仕方や運動に親しみ他者と協力する姿勢を身に付ける。</p>
		<p>(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。</p> <p>(思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。</p> <p>(学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。</p> <p>(主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。</p>	<p>【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」</p>	<p>キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つめる、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等</p>
		<p>(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。</p> <p>(学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。</p> <p>(主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。</p>	<p>【児童会活動】 ・児童集会</p>	<p>児童集会 ・集会活動の経験を積み、よりよい人間関係を形成する。 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。</p>
3 学期	1.4	<p>(知及技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組むことができる。</p> <p>(学・人)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)各学校行事について知るとともに、各学校行事に必要なことを理解し、それぞれの学校行事のねらいや内容に即した行動の仕方や習慣を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)学校行事を通して学校生活の充実を図り、大きな集団による集団活動や体験的な活動に協力して取り組もうとしている。</p> <p>(主学)学校行事を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と尊重し合いながら協働し、公共の精神を養い、よりよい生活をつくろうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>【学校行事】 儀式的行事 ・始業式 ・修了式</p>	<p>儀式的行事 ・ふさわしいマナーを身に付ける。 ・厳粛で清新な気分を味わう。 ・修了式</p>
		<p>(知及技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解することができる。</p> <p>(思判表力)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定したりすることができる。</p> <p>(学・人)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)日常生活について実現可能で具体的な目標を立てたり、意思決定しようとしている。</p> <p>(主学)希望や目標を持って、自己のよさを生かして主体的に活動する態度を養おうとしている。</p>	<p>【学級活動】 「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」</p>	<p>キャリアパスポートを活用した取り組み。 ・自分自身の良さや好きなことを見つめる、知る ・学期の目標をたてる ・目標達成に向けて主体的に活動する ・学期末に振り返る 等</p>
		<p>(知及技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組むことができる。</p> <p>(学・人)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)児童会や委員会の活動について知るとともに、運営の仕方や異年齢集団による交流の仕方等を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表)児童会や委員会の一員として、学校生活の充実と向上を図るための課題や活動計画、役割等について話し合い、協力して取り組もうとしている。</p> <p>(主学)多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつくろうと積極的に取り組む態度を養おうとしている。</p>	<p>【児童会活動】 ・児童会役員選挙 ・児童集会 ・6年生を送る会</p>	<p>児童会役員選挙 ・選挙規則や選挙の方法について知る。 ・投票箱や記載台を利用し、実際の選挙の雰囲気味わう。 児童集会 ・学年発表や挨拶などの割り当てられた役割を遂行する。 6年生を送る会 ・6年生の卒業をみんなで祝福し、全児童で楽しく関わり思い出を作る。</p>
年間を通して	2.2	<p>(知及技)互いのよさを見付け、互いを尊重し合い、仲よく生活することのよさや大切さを理解することができる。</p> <p>(思判表力)互いの個性を尊重し合う人間関係を形成することができる。</p> <p>(学・人)友達との関わりを通して自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)互いのよさを見付け、互いを尊重し合い、仲よく生活することのよさや大切さを理解しようとしている。</p> <p>(思・判・表)互いの個性を尊重し合う人間関係を形成しようとしている。</p> <p>(主学)友達との関わりを通して自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養おうとしている。</p>	<p>【学級活動】 「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」 「友達と仲良くしよう」</p>	<p>・スクーリング、居住地校交流への参加等</p>
留意点 引継ぎ等					